

# 技術的な営業秘密の事例について

第8回 営業秘密の保護・活用に関する小委員会

平成29年2月15日

味の素株式会社 池村 治 様

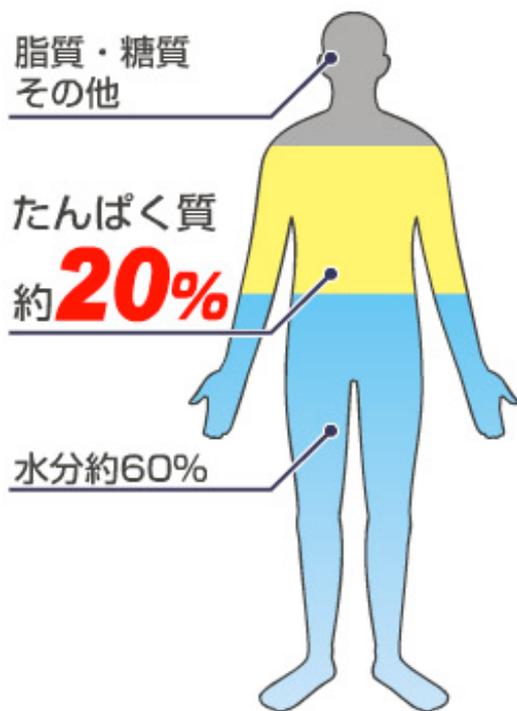
# アミノインデックス<sup>®</sup> 技術概要と 不正競争防止法・推定規定適用の必要性

第8回 営業秘密の保護・活用に関する小委員会  
2017年2月15日

味の素株式会社 知的財産部長 池村 治

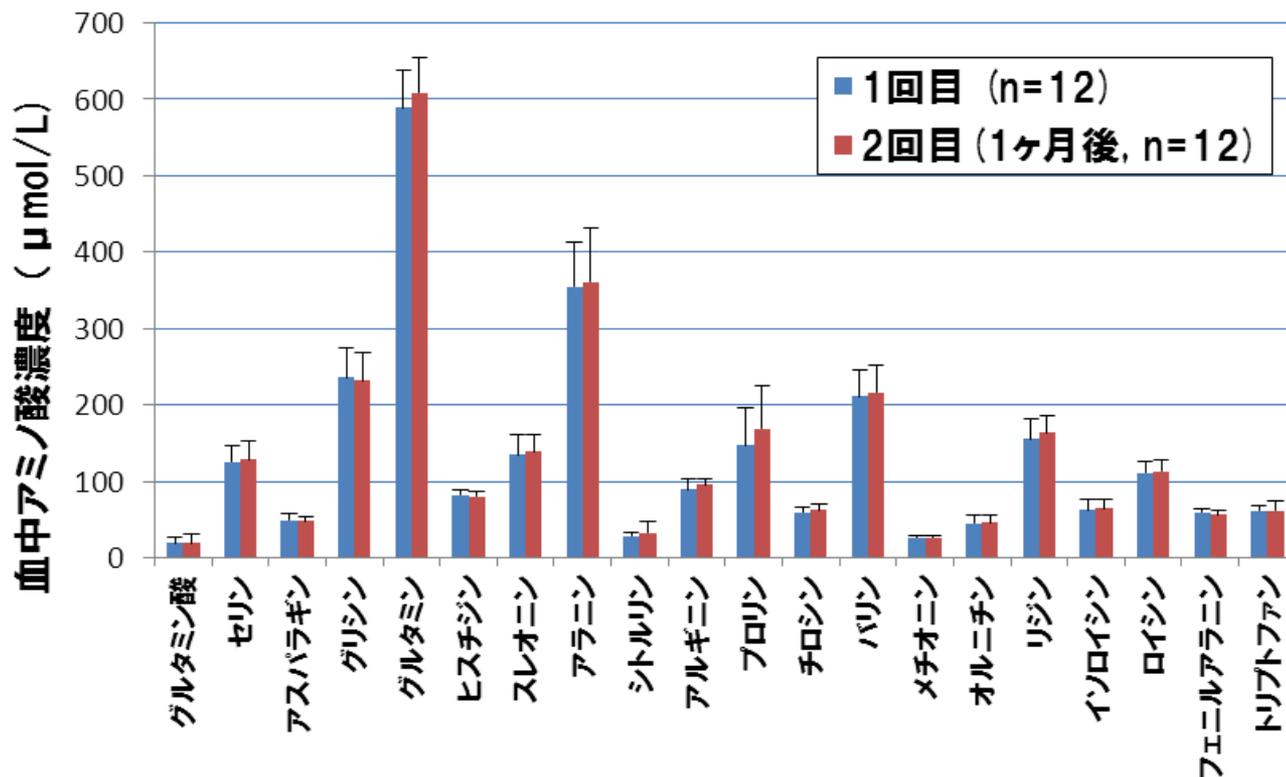
# アミノインデックス<sup>®</sup> 技術概要

## 人のカラダにおける成分構成比



たんぱく質：  
20種類のアミノ酸から作られている

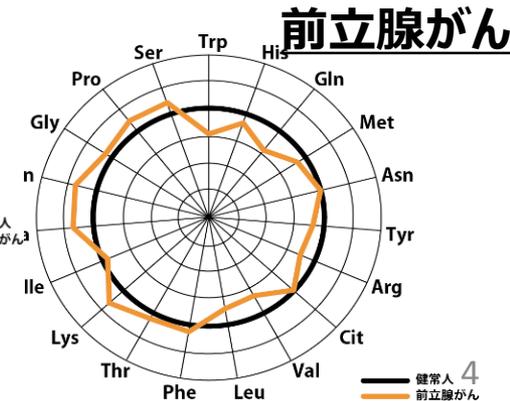
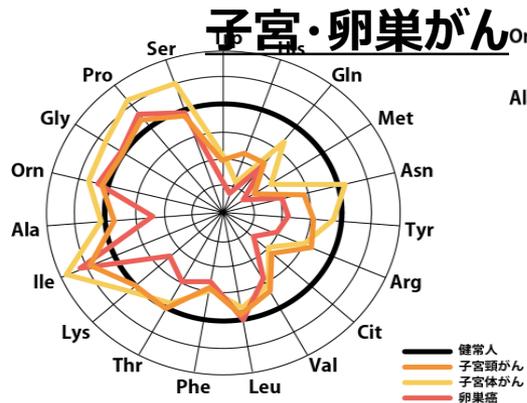
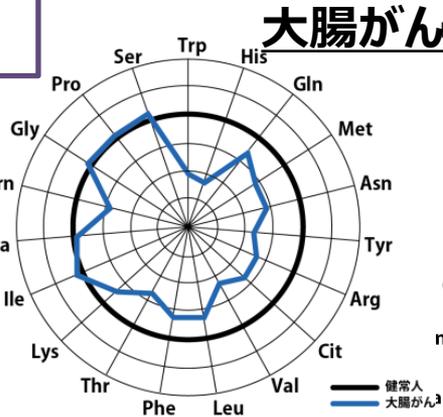
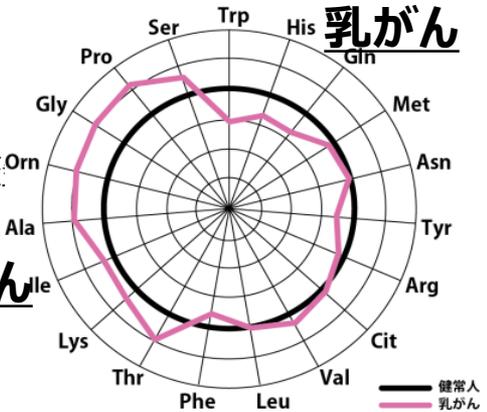
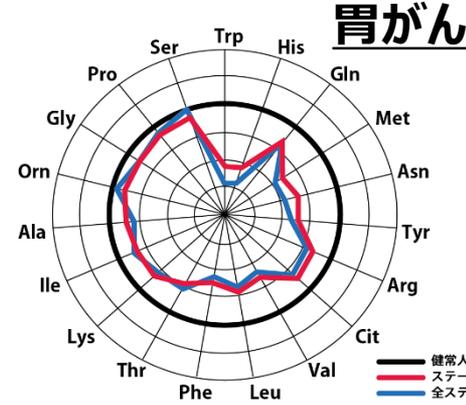
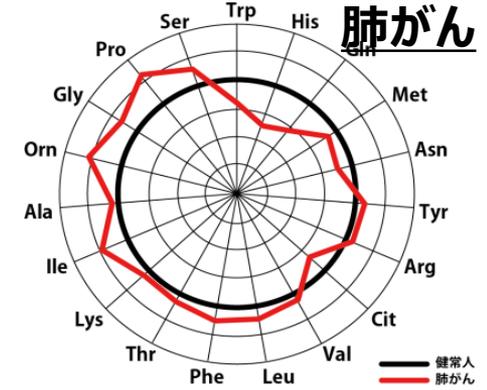
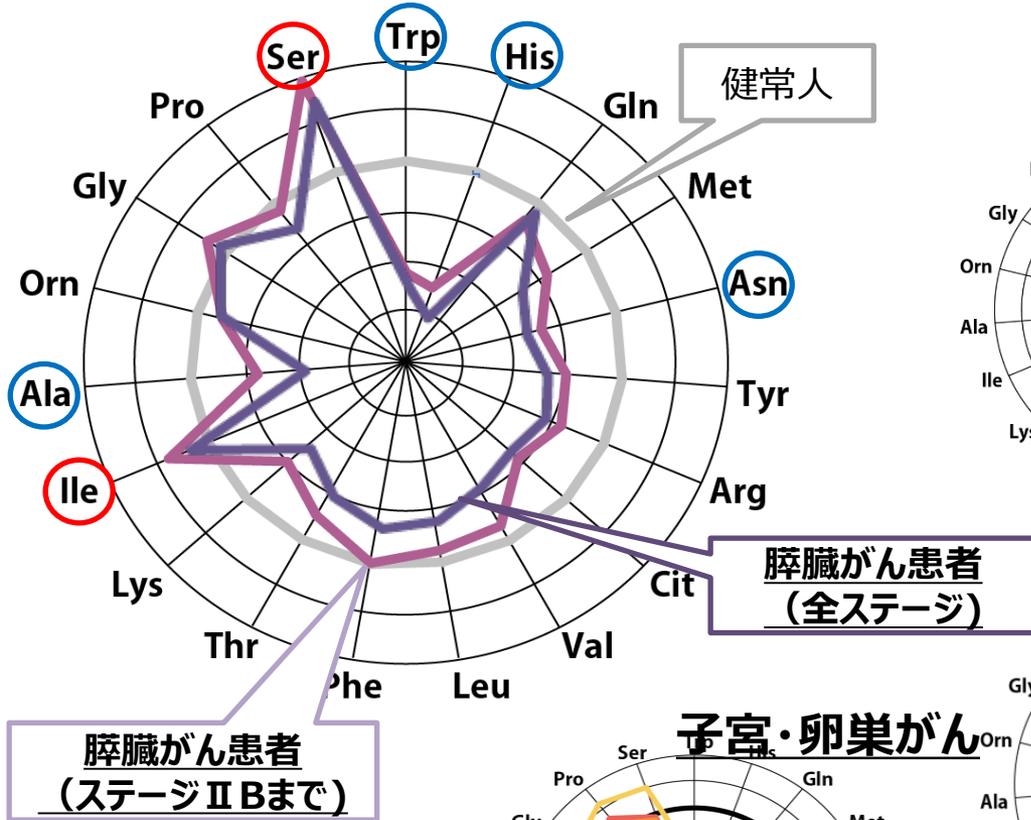
## アミノグラムの恒常性



全てのアミノ酸で有意差無し (Paired T-test)

# アミノインデックス® 技術概要

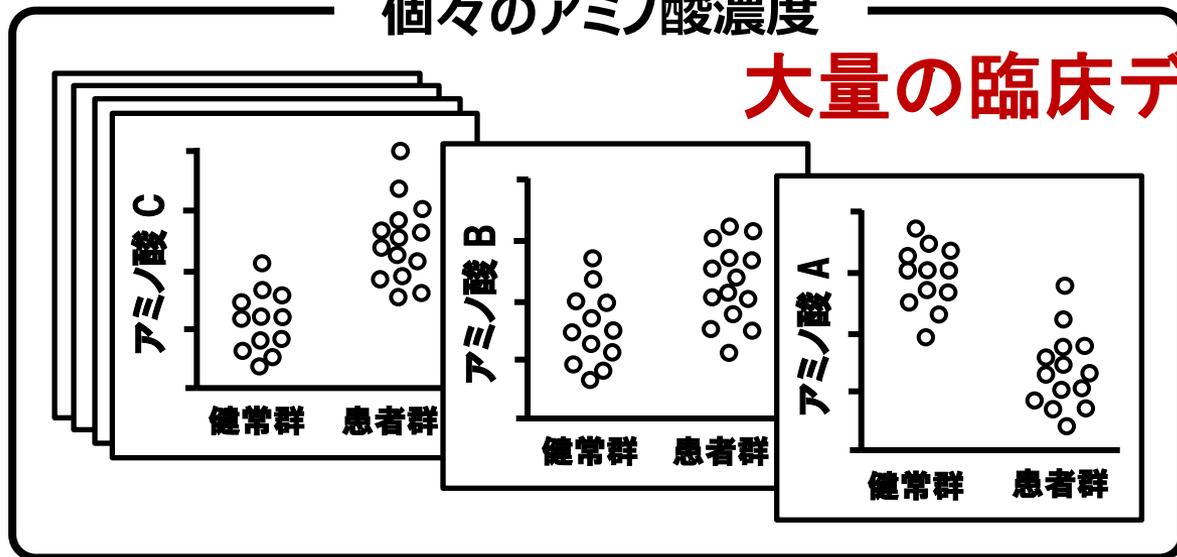
がんになると血液中のアミノ酸バランスが変化する



# アミノインデックス® 技術概要

個々のアミノ酸濃度

大量の臨床データの蓄積と解析

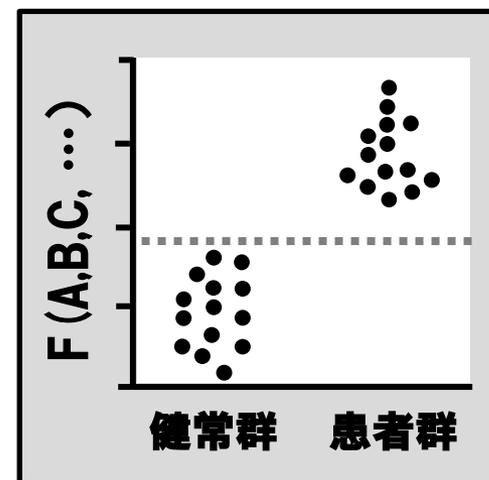


- ① アミノ酸変数の選択 (アミノ酸5個～6個)
- ② 多変量解析によるインデックス式の導出

インデックス式 (学習済みモデル)

$$\text{インデックス式} = F(A, B, C, \dots)$$

「アミノインデックス技術」



「アミノインデックス値」 =  
患者のアミノ酸パターンにどれくらい近いかという確率を示している

# AICS® (アミノインデックス®がんスクリーニング) 報告書書式

採血時のがんである可能性(リスク)を、各々のがん種ごとにランクA、B、Cで評価します

がんに罹患している確率を0.0～10.0の値をとるAICS値として算出。

特異度80%と95%のときの値を使い、「リスク」を3つのランクに分けて表示。

**ランクA < ランクB < ランクC**  
の順でリスクは高くなります。

項目	検査結果 <sup>00</sup>	ランクA	ランクB	ランクC <sup>100</sup>
AICS(胃)	5.8		*	
AICS(肺)	2.3	*		
AICS(大腸)	0.9	*		
AICS(乳腺)	3.8		*	
AICS(子宮・卵巣)	8.5			*

## カットオフ値の設定

特異度80%    特異度95%

ランク分類	ランクA	ランクB	ランクC
AICS値	0.0～4.9	5.0～7.9	8.0～10.0

低い ← がんであるリスク → 高い

【参考】特異度95%とは、健康な人の95%がこの数字以下になるという値です。

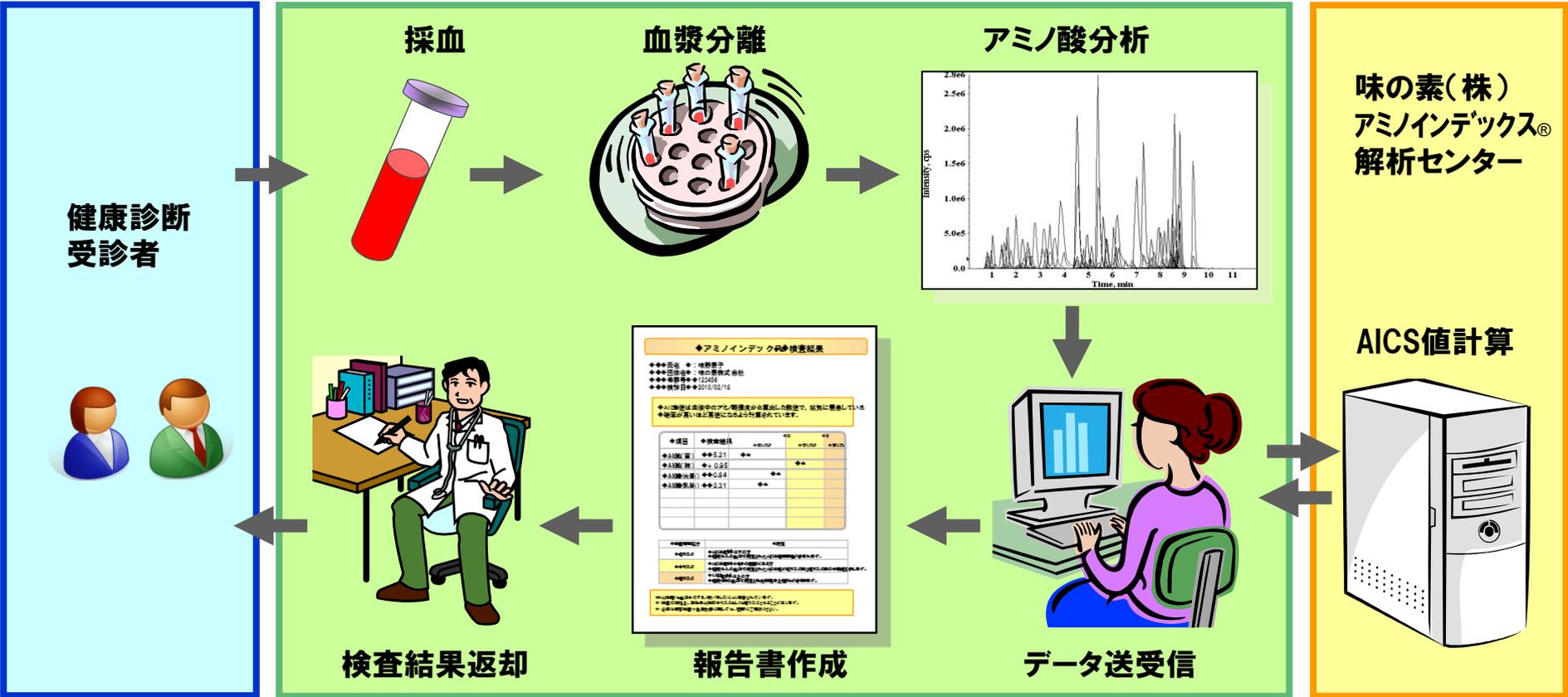
男性AICS [5種] :

胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、前立腺がん

女性AICS [6種] :

胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん、子宮がん・卵巣がん

# AICS<sup>®</sup>検査の流れ



# 不競法推定規定に関する検討

第五条の二「技術上の秘密を取得した者の当該技術上の秘密を使用する行為等の推定」  
対象：「当該技術上の秘密を使用する行為により生ずる物の生産」「その他技術上の秘密を使用したことが明らかな行為として政令で定める行為」

<A：不正取得行為（2条1項4号）> <B：Aの介在に悪意重過失の取得（同5号）>  
<C：不正開示行為の介在に悪意重過失の取得（同8号）>

<不正取得された技術>

物の生産方法

- 例 1：塗料の微量成分添加による劣化防止機能向上技術
- 例 2：普通自動車の燃料電池の耐久機能強化技術

<被告の利用が疑われる行為>

生産方法

- 例 1：被告が劣化防止機能の高い塗料を生産
- 例 2：被告が耐久機能の高いトラクター用の燃料電池を生産

政令で定める技術

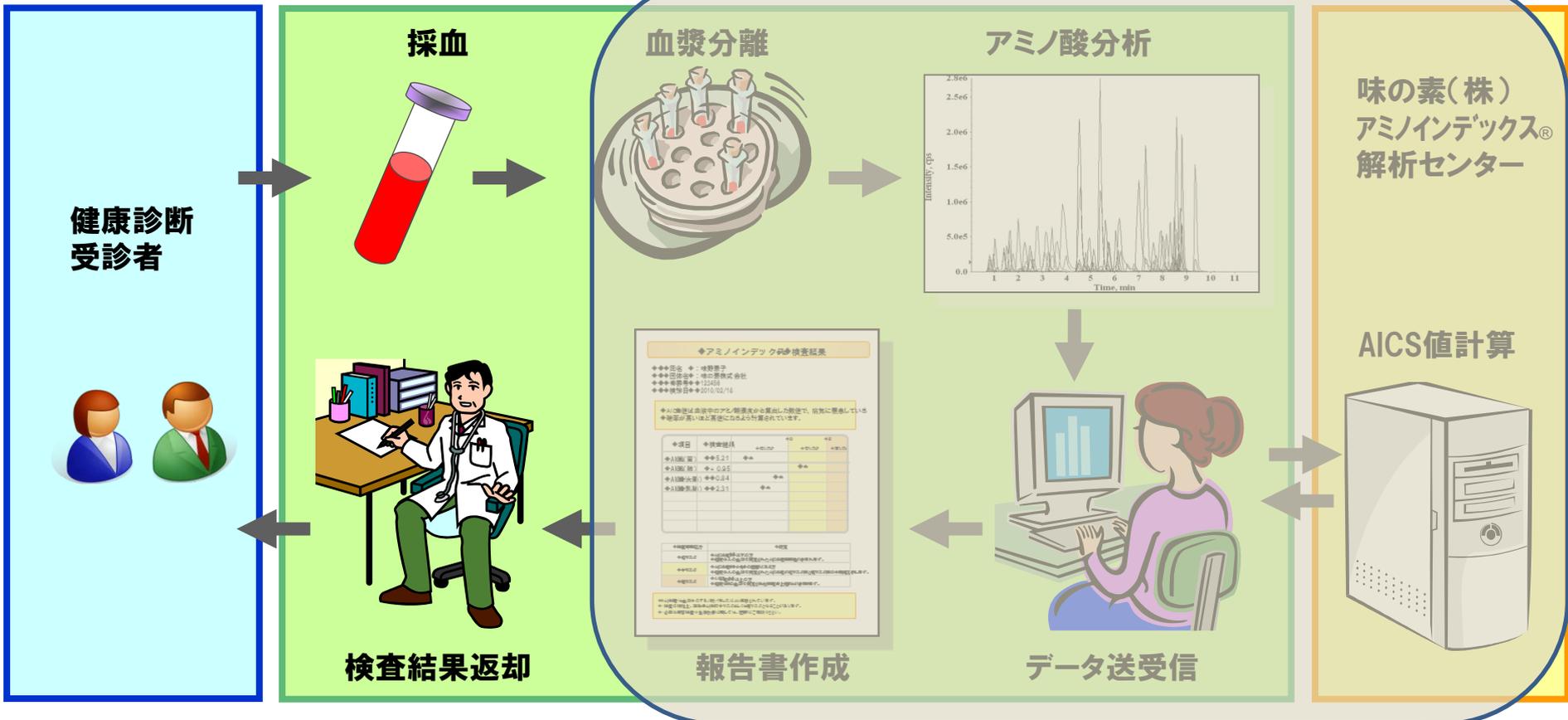
- 例 3：血液中のアミノ酸組成の分析により疾患である可能性を評価する技術  
(健常人と疾患患者双方の大量のデータ取得とその解析評価が必要)

当該技術を使用したことが明らかな行為

- 例 3：被告が採血によりいくつかの疾患の可能性を評価する検査サービスの提供を開始  
(評価方法の確立には、多数の医療機関の協力と年月をかけたデータの収集を伴う研究開発が必要)

# 立証責任転換の必要性

(1) 被告の実施態様はブラックボックス⇒原告の立証困難性

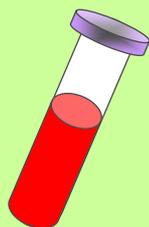


(2) 被告が独自技術を使用したと主張⇒被告の反証容易性

# 立証責任轉換の必要性

健康診断  
受診者

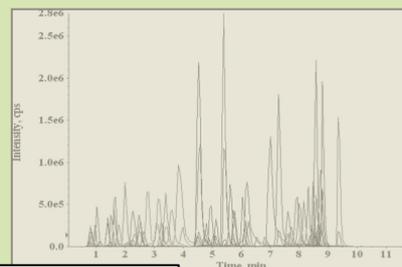
採血



血漿分離



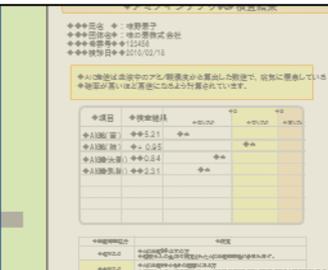
アミノ酸分析



(4) アミノ酸分析実施の形跡⇒被告の使用行為の端緒



検査結果返却



報告書作成



データ送受信

味の素(株)  
アミノインデックス®  
解析センター

AICS値計算



(5) 不正「使用」による機会損失⇒差止請求、損害賠償請求の必要性

(3) 技術確立には長年の研究開発が必要⇒原告技術と被告行為との関連性の嫌疑